



周産期・小児医療における子ども・家族中心のケアの実践 および協働意思決定に関する研究

看護学科

浅井 宏美 准教授

【研究分野】 助産学、母性看護学、新生児看護学

【キーワード】 周産期、新生児看護、Family-Centered Care; FCC

【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=146asa>

研 究 概 要

近年、周産期医療において、家族は子どものケアに関わるチームの一員として、医療者と**良好なパートナーシップ**を築くこと、**患者・家族と医療者の協働意思決定**が重要視されています。これらの実践をより促進・普及していくために、臨床の看護職の方々と共に実際の臨床に生かしてゆくにはどうしたらよいかという視点を大切にして、研究に取り組んでいます。また、周産期医療に従事する看護職対象のセミナー、中学生・高校生対象の性教育や新生児の看護に関する出張講座などの教育活動を行っています。

研 究 紹 介

1. 周産期における子ども・家族中心のケア(Family-Centered Care; FCC)に関する研究

- 1) FCCの理念に基づくケアの評価尺度の開発
- 2) 周産期・小児医療におけるFCCの概念分析
- 3) 新生児集中治療室におけるFCCを促進する個人的・組織的要因の探索

2. 多職種連携・協働意思決定に関する研究

- 1) 新生児医療に携わる医療従事者向けの教材開発
 - ・DVD『重篤な新生児の医療をめぐる協働意思決定』（医学映像教育センター制作、2016年）
- 2) 患者・家族と医療者の協働意思決定に関するワークショップ企画など
 - ・雑誌「小児看護」企画『特集 話し合いの環境を考えよう！ 家族を含めたチームカンファレンス みんなで育てる“コラボ”プロジェクト』（2018年6月号）
 - ・第27回日本小児看護学会テーマ『子どもの最善を守るためにチームで協働意思決定できる職場風土を創ろう』
 - ・第30回日本小児看護学会テーマ『患者・家族の意見を尊重した意思決定支援：ロールプレイを通して考える』

3. 病院、診療所、助産所における助産ケア方針に関する調査研究

4. 日本におけるヤングケアラー支援に関する研究

講 座 テ ー マ 紹 介

●中学校・高校出張講座（＋新生児モデルの抱っこ体験・妊婦体験演習）

1. いのちの教育・思春期の性（性教育）、新生児・未熟児の看護に関する講座
2. 看護職を志す中学生・高校生のための講座

●一般向け講座

1. 子育て中のママ・パパ対象の母乳育児・育児技術に関する講座・交流会など

●専門職講座（看護職対象）

1. 産科看護職のための学習会（地域における母子保健活動、産科医療補償制度と助産活動など）
2. 周産期・小児医療に関わる看護職のためのファミリーセンタードケア実践入門

アピールポイントなど

教育機関（中学校・高校）ご担当者様へ：上記の講座テーマの中でご要望がございましたら、出張講座のご依頼に対応可能です。日本の将来を担う生徒様のために、微力ながらお役に立てれば光栄です。
医療機関・自治体ご担当者様へ：上記の研究・講座テーマに関連した講座のご依頼に対応可能です。